

令和5年度第3回地域福祉推進委員会における意見について

No.	発言者	該当箇所	意見
1	金井委員	第5章 第2節 基本戦略1(1)P.78 ①各種相談窓口の設置	現行計画で設置を想定している機能集約センターに社協職員を配置して、福祉サービスの提供(実践)とともにソーシャルワークに取り組んで欲しい。そのためには、市の理解と協力のもと、社協人員の十分な確保とスキル向上に努めて欲しい。
2	小暮委員	第5章 第2節 基本戦略1(2)P.80 ①ほんじょう助け合いサービス ②ファミリー・サポート・センター事業	各事業の簡単な説明はあるが、そのみで今後の方向性が見えない。会員を増やしていくなどの具体的な記述があった方が良いのではないかな。
3	金井委員	第5章 第2節 基本戦略1(4)P.84 ④福祉教育推進事業 第5章 第3節 基本戦略2(4)P.92 ①福祉教育推進事業【再掲】	教育委員会とも連携してプログラム開発に取り組んで欲しい。記述内容をブラッシュアップして欲しい。
4	金井委員	第5章 第3節 基本戦略2(1)P.86 ①ボランティアセンターの運営	ボランティアセンター業務の中核をなすのは「コーディネート機能」であると考えている。そのことを追記するとともに、そのビジョンを計画化して欲しい。例えば、ニーズに基づくボランティア育成や研修の開発等について記載する必要があるのではないかな。
5	木村委員	第5章 第3節 基本戦略2(2)P.88 ②高齢者の便利ガイド等の活用	【資料1(市資料)への意見内】 市だけでなく、社協も独自で高齢者の便利ガイドを作成するのか。
6	小暮委員	第5章 第3節 基本戦略2(5)P.94	住民主体の取組を「支援します。」とあるが、どのように支援するのか。支援内容について記載する必要があるのではないかな。
7	木村委員	⑤住民主体の支え合い活動の推進	すべてはあいさつによる「顔見知り」から始まる。概要欄の文末に「人と人との繋がりづくりとして『あいさつ運動』の展開を図る。」を加えて欲しい。
8	木村委員	第5章 第4節 基本戦略3(2)P.98 ①成年後見サポートセンターによる相談支援等	社協は、10年度ほど前から、法人成年後見事業に取り組んできた(全社協発行書籍にも、市町村社協が法人による成年後見事業に取り組むべきとの記載がある)。成年後見サポートセンターの委託契約書を、本委員会資料として提供して欲しい。
9	金井委員	第5章全体 地域福祉活動計画の構成(掲載箇所)について	現行計画では、地域福祉計画と地域福祉活動計画が一体的に策定され、構成上も一体感があると感じるが、次期計画で地域福祉活動計画を独立した章とすることは、両計画の一体感という意味では少々残念である。